

KOZMOS

貴重書 ジョン・ロック	
『政府論』解説……	2
研究余話	
訳詩集を読む面白さ…	3
特集：紹介コーナー	
雑誌室・視聴覚(AV)	
室……	4~6
私のすすめる一冊の本…	7
館内だより……	8

コスモス 1984 春 (No.65)

新入生歓迎!!

“若き学徒の学びのひとときに贈る”



「海」

長谷川 昂 作

昭和27年4月、本学第17代学長小林啓善先生が退職記念に図書館にご寄贈くださった塑像である。現在も、白山図書館二階、参考・雑誌室に飾られている。

台座には、元学長が学生にあてた“若き学徒の学びのひとときに贈る”とのメッセージが刻まれている。

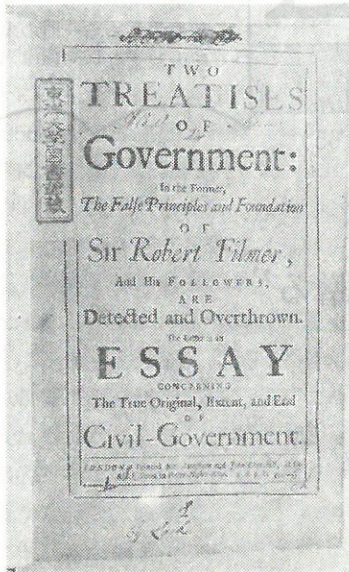
作者、長谷川昂氏は、明治42年生、千葉県出身。昭和37年、国際美術展にて彫刻最高賞金メダル受章をはじめ、文部省美術展特賞など、受賞多数。現在、日本彫塑会会員。

貴重書から

ジョン・ロック『政府論』

——近代民主主義の教科書的古典——

工学部教養課程 教授 平 野 耿



表題紙の一部

ジョン・ロック (John Locke, 1632~1704) は17世紀のイギリスを代表する多才な思想家である。彼は Oxford 大学で哲学・神学・自然法・医学・新科学を学び、それぞれの分野で輝かしい業績を残した。ここに紹介する『政府論』(1690)も、近代民主主義の教科書的古典として、ロックの名を不朽のものとした彼の政治思想上の名著である。実際には1689年の暮、ロンドンで匿名出版されたこの著作には、写真のように長い表題が記されている。『政府に関する二論文。前者においては、ロバート・フィルマー卿、およびその信奉者たちの誤れる諸原理と根拠とが看破され覆される。後者は、市民政府の真の起源、範囲および目的に関する一試論である』。第1論文で批判の対象とされたフィルマー (c. 1588~1653) は、主著『族父論』(1680)で、人民に対する国王の絶対的統治権が、アダム以来族父やその末裔である国王らに、神から授与された正統で不可侵な権限であることを、聖書の字句に即して論証した政治思想家である。彼の死後26年も経た79年から80年に

かけて、その『著作集』や『族父論』が王党派の手で刊行されると、当時チャールズ2世のカトリック政策と王位継承権を巡って激しく対立していた議会派は、イデオロギー的劣勢に追い込まれざるをえなかった。ホイッグの総裁シャフッペリー伯の知遇を得ていたロックは、最初『著作集』を読んでフィルマー論駁のため第2論文に着手したが(83年に大要完成)、続いて『族父論』が出るに及んで、フィルマー理論の思想的基盤を切り崩すため、年内に第1論文を書き上げた。したがって二論文執筆の順序と目的は逆なのであり、本来は80年代初頭の政治状況に対応して書かれた時局論文といえる。しかし名誉革命後ほどなく本書が出版されると、人民の同意と信託に基づく新政府の合法性を擁護する論考として高く評価されるようになった。ことに第2論文で展開される自由・平等な人間観、自他の所有権(生命・自由・財産)の保証を目的とする同意に基づく共同社会の形成論、更には信託による政治権力の樹立とその分立の必要性、また政治権力が人民の信頼に違背した場合に許容される抵抗権・革命権の理論などは、文字どおり近代市民社会の政治的原理の祖型に他ならない。事実1776年のアメリカ独立宣言に盛り込まれた政治的原理は、本書がその核心となっている。本学図書館が所蔵するものは、1698年の第3版で、90年の初版に加筆訂正が施された生前最後の刊本。縦20cm,横12.5cmの革表紙本で、活字や印刷技法に17世紀の特徴がうかがわれる。慶応義塾大学高橋文庫の初版本、関西学院大学ロック・コレクションおよび一橋大学所蔵の第2版(1694年)を除くと、京都大学上野文庫所蔵本と並ぶ貴重書である。(ひらの あきら)

註 白山所蔵 請求記号 K311.1:LJ:3

昨秋、来日したマサチューセッツ州大のポーター教授に、詩人ディキンソンの話を英米文学科の学生にしてもらった時のことである。講演が終わって、研究室で雑談していると、突然、「君、ディキンソンの日米シンポジウムなどはどうかね」と、尋ねられた。質問の内容に私は一瞬とまどったが、すぐ、今はレベルの差があり過ぎること、また、アメリカの研究を消化するのにあと五年や十年はかかることなどを挙げ、賛成はしなかった。話はそれ以上に進まなかったが、このことがきっかけで日本のディキンソン研究の水準や性格について、少し考えてみる気持になった。

研究余話

訳詩集を読む面白さ

文学部英米文学科 教授 中井 清

研究の水準を表すものに翻訳がある。日本では、ディキンソンの翻訳が四種類ほどあり、それらはいずれもディキンソンの専門家の手になるものだが、訳者がすべて専門の学者なのは、専門家でなければとても歯が



E. ディキンソン

立たない難解な作品だというのが、その理由であろう。フランスやドイツでも事情はほぼ似通っているらしい。では、研究の現状はどうかというと、単行の研究書はドイツに二冊、フランスには一冊もなく、日本には六冊もあるから、数では文句なしに日本が世界一である。ところが翻訳になると、ドイツに四冊、フランスに六冊出ており、数では日本と変わらない。

暇を見てこれらの翻訳書を眺めている内に、面白いことに気がついた。ディキンソンの作品は数が多く、しかも生前に詩集がないため、詩集を編む者は皆、どの詩を選び、選んだ作品をどう配列するか、つまり、彼女の詩的世界を読者にどう呈示するかという問題に、他の詩人の場合より一層

頭を痛める。総じてドイツ、フランスは、詩の選び方に個性を強く出し、アメリカ本国の判断にとられることがきわめて少ない。ドイツはドイツ流、フランスはフランス流の選択をする、といつてよい。イギリスもこの点では全く同じである。ところが日本は、アメリカの判断を素直に受け入れ、それを良しとする傾向が甚だ強い。いわば本店と支店の関係に似ていて、支店が本店に逆らうことはまず起こらないのである。しかも、それだけでは

訳自体の比較は別として、詩集のつくり方にお国柄が大変よく表れる。最も見事なのはフランスで、紹介や解説の文章から参考文献、索引にいたるまで、仕事に着実入念で、外見は確かに訳詩集であるが、実態は研究と言っても一向に遜色がなく、研究書の役割を十二分に果たしてさえいるのである。

私はここで比較文化論を展開するつもりはない。た

Dear friend,
 Are you
 willing to tell me
 what is right?
 Mrs Jackson
 of Colorado
 was with me a
 few moments this
 week, and wished

手紙の一部

だ、訳詩集を見ている内に、こういうことが判ってきたのである。なにも西欧の難しい思想や哲学を知らなくても、翻訳の詩を読むことで、西欧と日本の学問のあり方が判り、日本の学者の長所や短所を知ることができるという事実を、とても面白く感じたのであった。後の祭だったが、ポーター教授にこういう話を聞いてもらえなかったことが、悔やまれてならない。(なかい きよし)

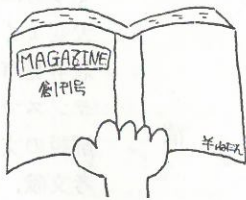
註 Dickinson, Emily Elizabeth. 1830—1886.

アメリカの閨秀詩人。十九世紀の激動期に生き、減び行く古いニュー・イングランドの宗教と自然を、珠玉のような短詩にうたった。独身。

特集：紹介コーナー

雑誌室・視聴覚(AV)室

図書館の資料にはいろいろあります。まずいわゆる図書、そして雑誌、視聴覚(AV)資料も主な資料の一つです。ここでは新入生を中心として皆さんに図書館の雑誌とAV資料について紹介します。具体的には白山の図書館を例にしましたが、朝霞分館、工学部分館についても原則的には同じですので、それぞれの館の「利用のしおり」をあわせて読んで充分に活用して下さい。



最新情報のことなら

雑誌室におまかせ!

この2・3年「雑誌の時代」といわれ“創刊誌ブーム続く”なんていう見出しを新聞などで見た方もいらっしゃるでしょう。書店にあふれるカラフルな雑誌の数々、昨日までお世話になった受験雑誌、気分転換に愛読した月刊マンガもなつかしい。なつかしいどころか一生愛読しちゃう決意の人もいるかも。

では図書館にはどんな雑誌があるのでしょうか。別表の各館ベスト5をみて下さい。これは各館または各学部、学科ごとに利用の多い順に並べたものです。おなじみの雑誌はありましたか。大学での学習はその成果を論文やレポートで提出することがかなりあります。たとえば、先生から指定された本を読む、その中に雑誌論文の一部が引用されていた、ではその論文を全部読んでみたいと思

利用雑誌ベスト5 朝霞分館

- 1位 最高裁判所民事判例集
- 2位 図書館雑誌
- 3位 現代の図書館
- 4位 月刊福祉
- 5位 朝日ジャーナル

★順位は以上の通りですが、6位以下のタイトルとそれ程差はなく、読書傾向は多様化しているようです。

利用雑誌ベスト5 工学部分館

- 1位 I/O
- 2位 トランジスタ技術
- 3位 アスキー(ASCII)
- 4位 学習コンピュータ
- 5位 マイコンピュータ

★やはり工学部はエレクトロニクス関係の雑誌の利用が多いようです。

った時。また最新情報を中心にレポートをまとめたなどという時は、雑誌が一番ということになります。ここではじめてみるタイトルも、これからの四年間でおなじみになるかもしれません。

また論文やレポートを書く時に欠かせない資料として「紀要」があります。「紀要」というのは大学や研究機関などで、所属する研究者の研究論文を集めて、継続して発行される出版物です。紀要でしか読むことのできない重要な論文もたくさんあります。普通には手に入りにくい資料ですが、図書館では雑誌資料として利用できるようにしています。

その他教養や趣味のための雑誌ももちろんあります。外国の雑誌をあわせると、図書館で継続してとっている雑誌は約2700誌もあります。古いもの(バックナンバー)も保存していますし、既に

発行を終った雑誌もあわせると約5600誌を所蔵しています。

図書館にどんな雑誌があるか具体的に知るには係に聞いてしまうというのもひとつの手ですね。係としても何でも気軽に聞いていただきたいのですが、やはり自分で探せる方が何かと便利だと思います。自分で探すには三つの方法があります。

第一には、直接雑誌を目でみて探す方法です。図書館の二階カウンターに向って右側に、参考・雑誌室があります。この室の左窓際にずらりと雑誌が展示されています。でもここで探せるのは、継続してとっている雑誌の一部で、しかも最新号と過去二ヶ月分だけです。次に第二の方法です。

「東洋大学雑誌所蔵目録」という冊子になった目録があります。これは1980年12月末現在で所蔵している雑誌をタイトルのABC順に並べて掲載したものです。つまり1981年以降に新しく所蔵した雑誌については探すことができません。そこで第三の方法です。参考・雑誌室入口の右側です。「雑誌目録」とプレートのあるカードボックスがあります。今日現在図書館で所蔵している雑誌の全てがカード目録になってこのボックスに並んでいます。このカード目録をひくのが雑誌の所蔵を知るのに一番正確だというわけです。カード目録に「新着号展示」となっていない雑誌は、カウンターに申し込んでください。

カード目録の引き方や何冊借りられるか、またカウンターでの手続きなど詳しいことは「利用のしおりNo.6 雑誌・新聞の利用」や雑誌室だより「べりおでいかる」を参考にしてください。(雑誌係)

私と朝霞分館

法学部法律学科2年 竹本 憲彦

私は朝霞分館閉架書庫の禁帯出本を良く閲覧する。それは私の所属する民法ゼミナール「法志会」が判例を用いて民法を勉強しており、大審院から最高裁までの民事判例集が閉架書庫におかれているためである。しかし残念なことに閉架書庫は一定の手続きをしなければ自由に閲覧できない。それでも私が興味を持っている民事判例集や梅謙次郎博士の貴重な専門書などの宝庫である閉架書庫を今後も利用するだろう。

私の朝霞分館利用法は他にもたくさんある。たとえば、一般教養の講義で教授が紹介して下さる本を閲覧したり、趣味の剣道関係の雑誌や写真関係の雑誌などを読んだり、ゼミや合宿前に朝霞分館に籠って勉強したり、空き時間に勉強したり、惰眠(?)を貪ったりしている。それ程にも私の朝霞校舎に於ける毎日の生活の中で朝霞分館は重要な位置を占めている。

この4月から白山校舎へ行く私にとって朝霞分館は忘れ難い。これからも大学生活を通じて利用してゆきたいと思っている。(1984年2月)



利用雑誌ベスト3 白山 (各学部学科別)

- ★文学部 哲学・印哲・中哲各学科
 1. 印度学仏教学研究 2. 理想 3. 思想
- ★文学部 国文学科
 1. 国文学 解釈と鑑賞 2. 国文学 解釈と教材の研究 3. 国語と国文学
- ★文学部 英米文学科
 1. エコノミスト 2. 英語教育 3. 世界経済評論
- ★文学部 史学科
 1. 史学雑誌 2. 歴史学研究 3. 日本歴史
- ★文学部 教育学科
 1. 精神薄弱児研究 2. 児童心理 3. 教育と医学

- ★経済学部
 1. 東洋経済 2. エコノミスト 3. 経済評論
- ★経営学部
 1. 企業会計 2. 東洋経済 3. エコノミスト
- ★法学部
 1. ジュリスト 2. 法律時報 3. 判例時報
- ★社会学部
 1. 図書館雑誌 2. 現代の図書館 3. 図書館界
- ★短期大学
 1. 国文学 解釈と教材の研究 2. 国文学 解釈と鑑賞 3. 国語と国文学

ビデオをみよう。カセットで学ぼう。
 レコードで憩いの一時を。。
 さあAV室に行ってみよう!



—視聴覚資料って何ですか？

図書館というと“本ばかり”のイメージがありますが、レコード、テープ、ビデオなどの資料も扱っているのですよ。これらを視聴覚資料といいます。

—その資料はどこでみられますか？

白山図書館の四階に視聴覚室があります。そこにいらしてください。

—利用の仕方は面倒なんですか？

初めての方でも大丈夫です。資料は、カード目録や、本になった「視聴覚資料目録；1973—80年」を使って簡単に探すことができますが、分からないことは、どんどん係にお尋ねください。

—どんな資料がありますか？ ポピュラーなど、どの程度ありますか？

レコードならば、クラシックと民族音楽が主体ですが、ポピュラーは、ライブ盤で揃えています。16ミリフィルムは、「一般心理学シリーズ」教員志望の方必見の「中学校教諭への道」ビデオは語学・スポーツ・邦楽・テレビ録画（ドキュメント・映画）と広範囲の資料を揃えています。カセットテープは、司法試験を目指す方には見逃せない「早稲田司法試験セミナー」語学をマスターしたい方のためにリンガフォン各国語、それに「NHK平家物語」などもあります。

—でも、カセットテープ、ビデオなどは借りられないんでしょう？

いいえ、一般図書資料とは別枠で、3点まで1週間、語学・法律の資料なら1ヶ月も借りられます。返却だけなら、二階カウンターでできますよ。ただ資料によっては、館内の利用だけに限っているものもあります。

—新しい資料が入ってから、利用できるまでの位かかりますか？

できるだけ早く利用してもらうことをモットーにしていますので、ほとんどすぐに利用できます。新資料は、「新着資料案内」でその都度紹介していますから、気をつけてご覧になってください。

—映画もみられるって本当ですか？

はい、昨年度は5回映写会を開きました。好評でしたから、今年度も今まで以上に良い企画を、と考えています。映写会のお知らせは「視聴覚案内」にも載せますし、ポスターも掲示します。

—その他にどんな利用ができますか？

たとえばグループで16ミリの試写会ができます。こうした団体利用の申し込みについては、前日までに予約の手続きをしてください。

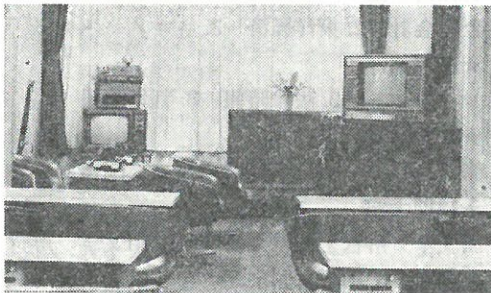
また、時間の制限はありますが、テープ、レコードなどの持ち込みもできます。

当室の利用について、詳しいことは「利用のしおり No.7 視聴覚室への誘い」「各休暇前のお知らせ」「館内の掲示」などでお知らせしています。

白山キャンパスの中では、特に静かで落ち着いた環境の部屋です。ここからの夕陽の眺めは格別です。ぜひ一度、四階まで足を運んでみてください。

(視聴覚係)

※ 朝霞・工学部については、各分館にお尋ねください。



私のすすめる一冊の本

井 街 悠 著

「ストレッチング」

(成美堂出版 1983年)

文学部教養課程 助教授 佐々木 秀幸

ストレッチングとは反動を使わずに身体各部の筋や腱を引き伸ばす静的な体操で、反動を使った動的な柔軟体操と比べて①消費エネルギーが少なくすむ。②安全である。③筋肉痛の予防とその回復に効果がある、など優れていることが証明されており、手軽に取り組めることからスポーツ専門家のみならずだれもが健康維持のひとつとして行える。ヨーガの型を体操に取り入れたことからある種の東洋的な神秘性と米国での実践性と理論とが融合し、たちまちのうちに流行して我が国にも伝わって間もない。これまで我が国でも著書として多く紹介されているが、本著者が最も早く米国でストレッチングを目にし専門誌などに紹介しており、かなりの充電期間に研究準備がなされた結果の出版で、日本人向きに手際よく整理されまとめあげている。ポケットに入れ持ち歩いても重くないから、ちょっとした広場を利用し頁を繰って手軽にストレッチしてみるのも楽しい。

請求記号 白781.4 : IY-2 朝・工781.4 : IY

菊田 幸一・西村 春夫 共編

「犯罪・非行と人間社会」

(評論社 1982年)

短期大学助教授 細井 洋子

犯罪・非行に関する情報は増える一方である。つい数年前までは刑務所や少年院の中は秘密の園であり、ましてや受刑者の生活の様子などは知るすべもなかった。それが今日では茶の間に居ながら刑務所の中を垣間見ることができる。校内暴力に関しても同様である。テレビ、新聞、雑誌といった媒体を通して事件の一部始終がリアルに描かれる。そのような状況の中に置かれていると、われわれは犯罪・非行のことをかなりよくそして正しく知っていると思ってしまう。しかしこれらの情報はそのほとんどがマス・メディアを通じて一

方的に入ってきたものである。

本書は、犯罪・非行といった日常的な出来事に対して、一体どこにその根源的な問題があるかを読者のひとりひとりに考えさせてくれる手頃なハンドブックである。特定のイデオロギーや視点から書かれたものではなく、それぞれの分野（社会学、心理学、刑事法学）において長年積み重ねてきた客観的な知識の網羅集である。是非一読をお薦めしたい。

請求記号 白326.3 : KK-2 : 3

朝326.3 : KK : 2 工326.3 : KK

フォックス・バターフィールド著 佐藤 亮一訳

「中国人」上・下

(時事通信社 1983年)

文学部教養課程 教授 今富 正己

「あおい月」という表現に抵抗を感じずの人がいる。陳腐で嘘偽だというのである。しかし、よく考えてみると世間にはこの種の「思いこみ」は少なくない。一定の偏りをもった、操作された情報の中に浸っていると、人は外界の事物について何時のまにか、真実からほど遠い虚像を結び、幻想を抱くようになるだろう。

アメリカ人F・バターフィールド氏はハーバードで中国語を学び、その後記者として中国で暮らした。氏は驚くべき熱意と誠実さで多数の中国人とつきあい、とらわれない目で中国の人々の生活ぶりを描破して見せた。

由来日本人は、同じ東洋人だから中国人については白人よりもわかっているとうぬぼれがあった。だが、第二次大戦の経験に徴するまでもなく、それは錯覚か幻想だった。過去のことを大いに反省したといわれる戦後の日本人はどうなのだろうか。いま、日本の報道機関からの中国特派員は決して少なくはないが、私は寡聞にして、このアメリカ人ほど卒直に中国の状況を伝えてくれた人を知らない。本書は、中国についての日本人の型にはまった考え方を批判する役割を果たす一方、真実を求めるための真摯な態度や方法を学ぶことの重要性をわかり易く示した点でも、甚だ教訓的である。

請求記号 白・朝・工302.22 : BF

註 請求記号の白は白山、朝は朝霞、工は工学部の所蔵を示す。

白山図書館に

National Union Catalog 購入さる!!

このたび、関係機関の努力によって新たに購入されたNUCは、アメリカで計画から出版まで三十有余年の歳月をついやして、1981年に完結された印刷史上最大級の書誌である。アメリカ・カナダの約千にのぼる主要図書館、研究施設が所蔵している1956年以前に出版された資料の蔵書目録である。実に754巻、1200万タイトルを収め、総重量約2.7トン。なんのためにこれ程の労力をかけ、このようなカタログを作成するのか。研究の第一歩は、必要文献の収集にある。また現在情報量の増大するなかでの、研究調査に果すカタログの重要性は、ますます顕著になってきている。本図書館の収書の重点施策に則って、このカタログが受け入れられたことは、利用者にとって研究調査の効率的成果を生み出す牽引となるし、図書館相互の借り入れや、複写によって、今後の海外をも含めた相互協力の活性に期待がもてる。なお、1956年以降については、本館所蔵のLCカタログによって、1977年まで把握することができる。

請求記号 029.1 : U : 7

(参考係)

ジョン・ロックを読んでみよう!

- 鶴飼信成訳 「市民政府論」 岩波書店 1970年
(白山311.1 : L J : 4)
- 友岡敏明, 中川政樹, 丸山敬一共著 「ロック市民政府論入門」 有斐閣 1978年 (白山311.1 : T T)
- 大槻春彦訳 「人間知性論」 全4巻 岩波書店 1976~80年 (白山133.25 : L J : 8)
- 田中正司, 平野耿共編 「ジョン・ロック研究」 イギリス思想研究叢書・4 御茶の水書房 1980年 (白山133.25 : T S : 3 朝霞133.25 : T S : 2 工学部133.25 : T S)
- 文末の記号は、請求記号です関連記事「貴重書から」p. 2

図書館の館外貸出期間変更のお知らせ

白山図書館では、本年4月1日より、学部・短大・通信教育生の図書的一般館外貸出を、「3冊1週間」から「3冊2週間」と変更いたしました。また、雑誌(含 未整本雑誌)についても、別枠で「2冊1週間」と変更いたしました。上記以外の利用者については、いままで通りです。詳しいことは、利用のしおり、またはカウンター係にお尋ねください。



館内だより ('83.12/1~'84.2/3)

- 12月1日 東京理科大学野田校舎図書館 調査見学
池田・後藤参加
- 9日 視聴覚室主催映写会「舞踏会の手帖」
- 10日 故杖下名誉教授宅 蔵書寄贈の御礼
- 15日 図書館連絡会
- 23日 第1回館長選考委員会・工学部分館連絡会
- 1月11日 図書館運営委員会
- 19日 図書館運営委員会
- 26日 図書館連絡会
- 27日 東洋大学図書館雑誌システム報告書(1) 電算実施委員会にて承認
- 28日 第2回館長選考委員会
- 31日 第3回館長選考委員会
- 2月2日 私立大学図書館協会東地区相互協力作業委員会 於慶応義塾三田情報センター 村田参加

3日 国立国会図書館長と大学図書館長の懇談会
於国会図書館 大川館長・百武出席

分科会関係

- 視聴覚分科会(水口) 12/13
- 理工学分科会(田辺) 12/13
- 相互協学分科会(村田・生野・原口) 12/20, 1/17
- 逐刊分科会(村山, 内田) 10/21, 12/16, 1/20
- 書誌学分科会(高橋, 山内(四)) 12/10, 12/21
- 書誌作成分科会(小笠原) 1/12, 2/1
- 音楽資料分科会(大和田) 12/12, 1/26

一編集後記一

編集の醍醐味といったら、「人との出逢い」につきると思います。おかげさまで、良き師、良き仲間
に恵まれ、充実した1年を過しました。
ご指導、ご協力ありがとうございました。